

第8回認知症医療介護推進フォーラム「認知症と新型コロナウイルス  
シンポジウム2 「新しい日常」を踏まえた共生の地域づくり  
2020. 2. 7・オンライン

# 「暮らしモデル」の認知症、その仕組みづくりへ

公益社団法人 認知症の人と家族の会鳥取県支部

代表 吉野 立

# 日本で一番人口の少ない鳥取県(55万人)の西端・米子市

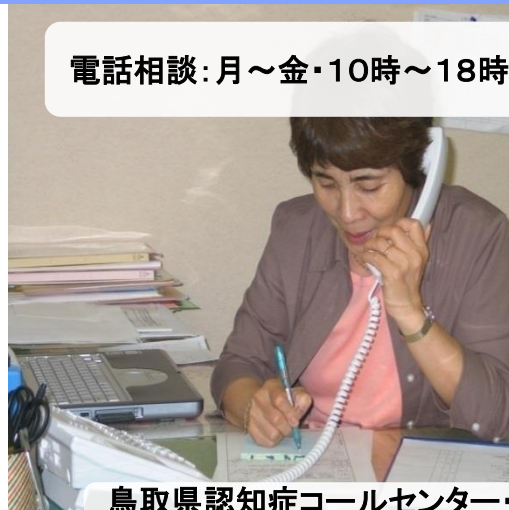


# 認知症の人と家族の会の活動3本柱と世界アルツハイマー月間

介護家族のつどい・県内全市町で毎月定例開催



電話相談: 月～金・10時～18時



鳥取県認知症コールセンター・若年認知症サポートセンター  
2010年より  
2018年より

オレンジライトアップ・鳥取駅前広場



世界アルツ  
ハイマー月間  
(9月)の活動



広報紙・ぽーれぽーれ鳥取県・毎月1300部発行

認知症本人の作品展



オレンジ列車運行・若桜鉄道



## 2020年新型コロナウイルスにより起こったこと

1. 3月から、介護家族のつどい等が、主に会場が使用できなくなり休止。
2. そのためか3月の相談電話が100件以上増加。
3. 全国的に緊急事態宣言が出されたことでオレンジカフェ、にっこりの会等、高齢者や認知症の本人が集まり交流する“居場所”も休止。
4. 入院や入所している認知症の人と家族が面会できなくなった。

# “ひと” と “ひと” が、話し、ふれあう “交流の場” の必要性をあらためて認識

- 県内全市町村長へ、人数を制限し、感染対策を充分に行うことで、会場の使用を許可し、つどいの再開を要望  
→5月下旬より全ての市町村で再開
- 新型コロナウイルス感染対策を充分に行うことで、にっこりの会を始め、世界アルツハイマー一月間行事、認知症勉強会等→予定した活動を実施することが出来た
- オンラインによるカフェ、研修会等、地元にいながら全国の仲間と交流、学び→新たな“場”が生まれた
- 面会禁止の中でも、職員の配慮でガラス越しの面会ができた→家族の声かけに最高の笑顔が生じた

# 鳥取県支部で取り組んでいる活動から思うこと

オレンジカフェ: わだや小路・毎週火曜日11時~15時



にっこりの会: 認知症本人と家族のつどい: 県内3圏域で開催



認知症勉強会: 毎年開催



男性介護者のつどい: 男性介護者ネット鳥取県

# 「医療モデル」+「暮らしモデル」を軸とした 認知症施策と地域の仕組みづくり

- 早い気づきと受診時から「暮らしモデル」へつながりを社会的処方、本人・家族のピアサポート
- 認知症に対応した介護保険制度改革を制度10年の際には認知症と制度への問題提起
- 様々な介護の形態、ひとり暮らし、二人世帯の増加等介護者支援の施策が急務。世帯として支援する。
- 地方における交通（車）の問題と認知症法律規制よりAI活用や工夫。本人グループからの提案

ご清聴ありがとうございました

